

2023年 11月

からし種

カトリック片瀬教会



今年はまだあと2ヵ月

ブランチフィールド神父

10月27日、窓から見て木々がいよいよ紅葉になっている。あと2ヵ月でクリスマスを迎えます。これからは教会の暦に諸聖人の祝い、死者の記念日、王であるキリストの祝い、無原罪のマリアの祝日があって、待降節に入っていきます。クリスマスに向かって心の用意ができるように、黙想会の日と許しの秘跡の日が来ます。

これで年の暮れ、1年の終わりの雰囲気に入ります。ふりかえてみると、どういう1年であったか？神様からいただいた1年のために感謝、自分の不十分のために反省。

しかし、教会の典礼や反省などよりも、みなさんの関心は迫ってきているイベントに行っていると思います。コロナのためにできなくて、数年ぶりのバザーです。新しいカタチでそれぞれのコミュニティの協力に基づいて行われます。数年前から来られなかったひとりでも多くの方がいらっしゃるように、そして近所の多くの方も来ますように祈ります。

2023年11月度 教会委員会報告

開催日時：2023年10月8日(日)午前11時30分～13時30分

出席者：ブランチ神父、委員長、副委員長、副委員長、会計監査、財務、典礼、宣教司牧、福祉、総務、中高大青会、一粒会、市内キリスト教連絡会、シャルル聖^パカ修道女会片瀬修道院、聖母訪問会モンタナ修道院

□ブランチ神父のお話

私たちは、神の民、ぶどうの国だから良い民となる様、今活動していることに力をいれましょう。一番期待しているのは「コミュニティ」です。お互い声を掛け合い、必要な時に求めること。コミュニティの中でバザーも話題となっています。バザーを喜びのあるものにしてください。また、第5地区でももっと知り合う方向に進んでいます。祈りの話しも出てきています、レクチオ・ディヴィナもそうです。多くの人が集まっていなくても集まっていればだんだんと増えていくでしょう。祈りの心を深めていきたいです。今日は、17時からロザリオの祈りをします。私が片瀬に来てから初めてです。これが良かったら続けましょう。共同体として成長しましょう。

□報告および連絡事項

1. 委員長より、9月24日に行われた第5地区教会委員長会議及び共同戦況司牧委員会の報告があった。

1) 委員長会議の特記事項として

①藤沢教会が市と一時帰宅困難者受入協定を締結した。

②中和田教会は来年献堂50周年を迎える。記念誌を作成中。

2) 共同宣教司牧委員会特記事項として

①7月29、30日御聖体の宣教クララ修道会軽井沢修道院で開かれた第13回横浜教区懇談会報告。テーマは「わたしたちにとって、ともに歩む(シノダリティ)とは」。第5地区から司祭1, 信徒2名参加。信徒2名の報告書が配布された。

②第5地区における共同宣教と3部門の集いの進め方について、「レクチオ・ディヴィナの集い」のスケジュールが案内された。3部門担当司祭の変更。片瀬教会からは、7月にあった読み合わせ会や他小教区司祭が来たことで、今後もこのような交流をしてほしいとの要望を出した。「伝え部門」から広報のつながり、ネットワークを作ろうとの意見があった。

2. 待降節の黙想会、赦しの秘跡は、12月10日(日)にミサを9時の一回のみとし、ミサ後植栗神父しよる黙想会。17日(日)もミサを9時の一回のみとし、ミサ後赦しの秘跡と行うことになった。

3. 教会学校から、9月24日(日)に山手教会遠足を行った。教会学校、中高大青会一緒に26人参加。山手教会のミサに参列。子どものミサだったため、神父が絵本を使った読み聞かせがあった。ミサ後神父に聖堂の案内等をして頂き、昼食は港の見える丘公園で。その後中華街散策に行った。

4. 信徒・修道者・司祭がともに信仰を分かち合う交流会の案内
 - 1) テーマ「わたしの心に響く聖書の言葉 II」
 - 2) 日時、場所：2023年11月25日(土)12～16時 カトリック金沢教会
 - 3) 事前申込制 〆切11月12日 掲示、お知らせで信徒募集をする
5. 福祉部より 11月12日の藤沢教会「葬儀を考える」をテーマに講演会の案内があった。講師は、川辺氏。内容の詳細を確認する。
6. 9月30日 Renの主催によるチャリティコンサートは、200人程入った。主催者から教会に献金があった
7. 10月15～20日まで黙想会のため神父不在となる。総務で臨時の留守番役を募集する。
8. 財務より、今月末をめどに来年の予算を出してほしいとの依頼があった。
9. 10月7日に行われた草取りは8名参加で行われたが、まだ十分に草取りができていない。

□ 検討・決定事項

1. 今年のバザーの件
 - 1) 出店希望は、13店舗になった。10月21日(土)9:00～企画委員会を開き、出店スペースの割り振り、会場準備の段取り等を決めていく。
 - 2) 寄付金送付先は、ミンダナオ子ども図書館とモロッコ地震被災者支援の2つとした。
 - 3) 駐車場は、道路側の駐車場と、修道院の駐車場をお借りすることにした。台数に限りがあるため駐車は予約制とする。
 - 4) 当日のミサは、9時の一回のみ。準備でミサに与りにくくなるが、近隣教会の土曜ミサに行くとか、出店準備をミサの時間を外して行う等の工夫をする。
 - 5) バザー終了後、結果、感想等のアンケートを実施する。
2. 2024年司教訪問を申し込む。堅信者有る無しに関わらずお呼びする。日程候補として4月28日、5月5日、12日に希望を出す。
3. 各部会はもっと積極的に信徒への情報発信を行うべきである。からし種やホームページを活用すること。
4. 神父より、ホームレスの人を無視してはいけない、何とか我々で対応しなくてはいけないとお話しがあった。

次回委員会開催 11月19日

七つのお恵み

カトリック信者にとっては「典礼」といえば、まず「秘跡」です。「秘跡」とはラテン語のサクラメントゥム(sacramentum)に由来する言葉で、ギリシャ語のミステリオン(mysterion、秘儀・神秘)の訳語として使われるようになりました。因みにサクラメントゥムはギリシャ正教では「機密」、聖公会では「聖奠(せいてん)と訳されているそうです。秘跡といえば、洗礼、堅信、聖体、ゆるし、病者の塗油、叙階、結婚の七つが思い出されます。これらは、人生の節目に神様からいただくお恵みと言えます。これら七つの秘跡の中心であるといわれる聖体は、ミサの中でパンとぶどう酒が、聖霊の働きと司祭の聖別のことばによってキリストのからだと血に変えられたものです。このようにカトリック教会でいう「秘跡」とは、パンとぶどう酒などの自然の恵みの素材を通して、宗教的(超自然的)恵みを与えるしるしであると理解されています。

教会学校

～中高大青会との合同遠足～

H. C.

9月最後の日曜日、教会学校を中心に中高生大会や何人かのおとなたち、聖心の布教姉妹会のシスターたちも含め多数でカトリック山手教会のミサに遠足として参加、祈る機会をいただきました。

趣きのある横浜山手の街並みを楽しみながら到着した山手教会では、教会のみなさんにはたいへん歓迎していただきました。ミサの流れはもちろん同じですが、ミサの中盤に鈴木神父様による絵本の読み聞かせの時間や聖歌は手話とともに歌われることなど、山手教会独自の取り組みに触れました。

参加したメンバーは年齢差などもありましたが、年上のこどもが年下のこどもを気遣い、時には手を繋ぎ、自然とひとつとして交わる姿には、こどもたちの素晴らしい成長に感動するとともに、こどもたちに学ばされる瞬間でもありました。

若い世代のエネルギーに感化され、片瀬教会でも信仰の内に隔たりのない交わりが育まれるようにと祈ります。

夏の遠足

S. M.

今年は教会学校と中高大青会の合同の遠足で山手教会と横浜中華街に行きました。当日は20名程の、リーダーと子どもが集まりました。

藤沢駅から山手教会まではみんなで行き、1時間くらいかかりました。山手教会の神父様のお説教は子どものミサだったのか、絵本を読んでもうくださいました。

私は大浦天主堂に行ったことがあるのですが、同じ時代に作られたのか、内装の造りがとても似ていて印象的でした。ミサが終わった後は、神父様が簡単に山手教会の説明をしてくださいました。とても楽しかったです。



2023年度 第4地区一粒会大会

F. T.

10月に入っても残暑が厳しい状況が続いておりましたが、当日は天候に見舞われ朝からどしゃぶりで肌寒い中、鎌倉駅から徒歩での参加のため、片瀬教会からは4名の参加となりました。

会場となった清泉小学校では、悪天候の中、大会スタッフが屋外で受付対応されておりました。

大会は昨年引き続きコロナ感染対策で予約制になっておりましたが、遠く長野地区、静岡地区からの参加者も来ており、司祭召命への意識の高さを感じられました。当日の参加者数は、司祭35名、信徒485名、大会関係者40名でした。

最初に由比ガ浜教会の深堀実行委員長より開会宣言があり、続いて第4地区の指導司祭である古川司祭による「一粒会 召命の祈り」、その後一粒会本部委員長の宮崎氏より「召命は教会から生まれ」「召命は教会で育ち」「召命は教会が支える」という言葉で始まりました。

パネルディスカッションでは、特に雪ノ下教会の上杉司祭のお話が印象的でした。それは次のような趣旨のお話でした。

神学生の時には召命にいつも疑問を感じておりましたが、司祭になり暫くは主の平和の道具として働く事が出来ているか日々考えるようになりました。自分の召命の反省について少しは深まったように感じます。

日々の司祭職生きる中で、至らないところを感じておりましたが、司祭職の喜びについて感じる瞬間がありました。

ミサを捧げる中で、秘跡奉仕の中でキリストが今、此処にいてくださる。特に病者へ訪問した時に人の力を超えた神の力を働いている事を感じます。病気で苦しいはずなのに安らいた表情をされる方、キリストが確かにこの方の元に来て共にいてくださる事も感じます。

葬儀の時にも感じます。大切な方との別れは辛く悲しいものですが、人間的な力では乗り越えるのは難しいものです。しかし、終わりの日の体の復活と永遠の命を信じる私たちの信仰にはとても大きな力を感じます。確かに葬儀は亡くなった方との地上での別れであり、寂しさはありますが、絶望でなく神の元で必ずまた会えるという希望を感じられる時でもあります。

キリストが亡くなった方と遺族の方と一緒に寄り添ってくださることも感じます。

キリストは私たちの事を遠くから見下ろしている神ではなく、私たちと共にいてくだ

さる神、私達を友達としていてくれる神で、楽しい時、喜びの時もそうですが、辛いとき、悲しい時、苦しい時にそのありがたみを感じます。辛い状況にある人を見たときに人間としての自分の無力さを感じますが、同時にキリストが共にいてくださる。

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人ともに泣きなさい。」叙階の時に選んだ言葉です。パウロの勧めはキリストの生き方そのものだと感じます。私達も少しでもその生き方に近づいて生きていきたいと思っております。

その後、30名の司祭団と梅村司教さまによるミサが執り行われました。

若い司祭が現れること、今の神学生が無事に司祭になられることを祈りつつ、帰路につききました。

一粒会大会に参加して

H. C.

私は今回はじめて一粒会大会に参加しました。大会、とありますから信徒の士気を高めるようなかしこまったあるいは厳かな集いではとやや身構えていましたがそれはまったくの見当違いでした。新しく司祭になられた6名の紹介、こどもたちからの質問に応えられる姿など、神父様という存在を身近で何よりありがたさを感じられるぬくもりのある集いでした。参加の機会をいただき本当によかったです。



難民支援のためのチャリティーコンサート

9月30日、まだ残暑の厳しい土曜日の午後、NPO 法人難民自立支援ネットワーク (REN)の主催によるマーク・ゴトーニ&水谷川優子ご夫妻のコンサートが行われました。

バッハから始まり、日本の歌まで…ヴァイオリンとチェロの音色で聖堂は徹かのうちにも輝きに満たされました。会場内には、何名かの難民の方がいらして、片言の日本語で語りかけてくださる姿に祖国を離れてから現在に至るまでのご苦労を思い胸が痛みました。

曲目の中で、パブロ・カザルスが愛奏したカタルーニャ民謡のクリスマス・キャロル「鳥の歌」が演奏され、難民の皆様の境遇、また未だに解決の糸口の見つからないウクライナの戦争を重ね合わせて聴かざるを得ませんでした。

20世紀前半、スペインの内戦で母国語である「カタルーニャ語」を話すことすら出来なかった人々…そこの鳥たちは「peace, peace, peace…」と鳴くそうです。私たちも声高らかに「平和、平和、平和…」と祈りましょう。

美しい調べと共に、難民支援の重要性と日常の平和に慣れ親しみ過ぎた私たちに「真の平和」を問いかけてくれた有意義なコンサートでした。

ブランチフィールド神父様のお誕生日

K. E.

10月6日(金)は、ブランチフィールド神父様の87歳のお誕生日でした。O.Y.さんのお誘いで、金曜日の入信講座受講者と水曜日の聖書購読会有志で、講座終了後ささやかなお祝いのティーパーティーをしました。受講者は、みなアラカン?アラコキ!ですが…神父様のこれからも変わらぬご健康とご活躍をお祈りすると共に、講座の中で神父様のご健康とご聡明さの秘訣を伝授させていただけたらと思っております。



聖コロンバン会来日 75 周年

I. S.

今年は、聖コロンバン会来日 75 周年になります。11 月 23 日(聖コロンバンの祝日)10:30～から「福音活動のために感謝のミサ」が片瀬教会で捧げられます。

聖コロンバン会は、75 年の間に 169 名の司祭、19 名の信徒宣教師を日本に派遣し、東京教区の千葉地区、大阪教区の和歌山地区、福岡教区の熊本地区、そして横浜教区の湘南地区の司牧を任されてきました。私は高校生の時、熊本の帯山教会に所属していました。ここも当時聖コロンバン会のドイル神父様でしたが、私が東京に戻った後、ランチ神父様が赴任されています。片瀬教会も現在のランチ神父様はじめ、遡っていくとケنز神父様、オーエンス神父様、ハンラッティ神父様、モローニ神父様…と多くの聖コロンバン会司祭に司牧されてきました。どうか皆様の感謝の念を持って聖コロンバン会来日 75 周年をお祝いしてください。

◆お知らせ◆

○本紙にも今月は「七つのお恵み」…「秘跡」について記載されています。待降節に黙想会、赦しの秘跡が予定されていますが、毎週土曜日午後 5 時から 5 時半まで、ランチフィールド神父様のゆるしの秘跡に与ることができます。ご希望の方は聖堂にお越しください。

○11 月 23 日(木・祝)東京カトリック神学院のザビエル祭のご案内が聖堂入口に掲示されています。ご興味ある方は、お出かけください。

○ 11 月中旬頃聖堂入口前にある枯れたもみの木を新しい木に植え替えます。

○11 月 5 日のバザー当日は、11 月度の教会委員会では 9 時のみとなっていましたが、その後 16 時のミサが追加されました。

●11月の典礼

1日(水)	諸聖人	17日(金)	聖エリザベト(ハンガリー)修道女
2日(木)	死者の日	19日(日)	年間第33日主日
4日(土)	聖カロロ・ボロメオ司教	21日(火)	聖マリアの奉献
5日(日)	年間第31主日	22日(水)	聖セシリアおとめ殉教者
9日(木)	ラテラン教会の献堂	24日(金)	聖アンデレ・ジュン・ラク司祭と同志殉教者
	聖レオ1世教皇教会博士	26日(日)	王であるキリスト(年間第34週)
11日(土)	聖マルチノ(ツール)司教	30日(水)	聖アンデレ使徒
12日(日)	年間第32主日		

◇11月の予定

1. 1日(水) 諸聖人のミサ 10:00
2. 2日(木) 死者のミサ 10:00 まりあ食堂
3. 3日(金) 初金ミサ 9:00
4. 5日(日) 片瀬教会チャリティバザー
5. 16日(木) 白百合学園中学2年生修養会
6. 19日(日) 教会委員会 福祉バザー
7. 23日(木) 聖コロンバン会来日75周年記念ミサ 10:30～
8. 26日(日) 第5地区教会委員長会議 14:00～、共同宣教司牧委員会 15:00～ 大船教会

2023年11月号

発行 カトリック片瀬教会
 〒251-0035 藤沢市片瀬海岸2-2-35
 TEL/FAX 0466-22-4646
<https://www.catholickatasechurch.com>